

目標達成計画

作成日: 平成 29年 4月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	毎食テレビをつけて食べている。テレビを見ながら会話をする事も多いが、テレビを見ておらず、ただついているという状況も見られる。	食事を美味しく食べることが出来る環境、雰囲気を作っていく。	食事の際テレビをつけている時は、番組の内容を話題に話をする。誰も見ていない時や興味を持てるような内容の番組でない時はテレビを消し、音楽をかけてみる。入居者の方にとってテレビをつけている事が雑音になってしまうこともある事を考えて行なっていく。	12ヶ月
2	35	防災避難訓練を計画的に2カ月に1回行えていなかった。また、冬場に訓練が続いてしまった。	防災避難訓練を年間計画通りに2カ月に1回行なっていくようにする。	災害対策委員会のメンバーを中心に計画を立て、準備を進めていく。(奇数月に実施していくようにする)その際年に2回須賀川消防署の方に来ていただき指導いただく。また、年に1回地域の自主防災、消防団の方と訓練を一緒に行っていくようにする。	12ヶ月
3	1	新しく入社した職員には入社時に、事業所の理念、考え方を管理者などから研修などを通じ話している。その後は会議などでの理念の共有となっている。認知症への関心、介護の魅力を伝えるような伝え方にはなっていない。	職員が法人、事業所の理念、考え方を理解し、支援にあたる事が出来るようにする。また、仕事にやりがいを感じ、働き続けて行けるように取り組んでいく。	新職員には入社時にほうじん、事業所の理念を伝え、勤務の中でも理念に基づく支援の考え方、方法などを話していく。また、職員の経験値などに合わせ認知症や支援に必要な研修への参加を促し学びの機会を作る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。